

**令和2年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「イジェヴァン市廃棄物管理能力向上のためのゴミ箱・収集車整備計画」
贈与契約への署名**

令和3年1月26日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「イジェヴァン市廃棄物管理能力向上のためのゴミ箱・収集車整備計画」(贈与限度額:76,960米ドル(8,465,600円))に対する贈与契約への署名が山田在アルメニア日本国大使と被供与団体であるアルメニア赤十字社のムキタール・ムナツァカニャン代表との間で行われました。本署名式には、ハイク・ガルミャン・イジェヴァン市長も出席しました。

本案件では、イジェヴァン市の廃棄物管理能力の向上を目的としてゴミ箱240基及びゴミ収集車両1台及を整備します。これにより、イジェヴァン市の住民19,000人以上が直接的に裨益し、廃棄物管理に関する取組が改善される見込みです。また、住民の環境意識の向上を目的とした環境保全に関するイベントを開催することにより、中・長期的にはゴミの適切な廃棄・処理が促進されます。その結果、同市街地を流れるアグスティヴ川の水質が向上してアルメニア国内の環境保全が強化されるとともに、アルメニア政府の優先課題及び日本政府の対アルメニア開発協力方針に合致する形でアルメニアの環境安全保障にも寄与することが期待されます。

式典の冒頭において、ムナツァカニャン代表は、本件はコミュニティ開発を目的として人々の生活の質を改善させ、これまでの考え方を大きく変えるものである旨述べました。また、アルメニア赤十字社は本件を実施する過程で、地域住民の思考習慣や生活様式を変えるとともに、人道的な価値観を促進することを目指していくと付言しました。さらに、同代表より、在アルメニア日本国大使館及び日本政府への謝意が表明されました。

これに対し、山田大使より、インフラの改善、適切な廃棄物処理・管理の実施、環境保全に対する啓蒙活動は、アルメニアにおける持続可能な開発を促進する旨強調しました。また、山田大使は、本件はアルメニアにおける環境問題の改善に繋がるだけではなく、これまでの両国の友好関係と相互理解を具現化し、絆を強固にするものであると述べました。



贈与契約に署名する山田大使及び
ムナツァカニャン・アルメニア赤十字社代表



署名後握手を交わす両者



山田大使による祝辞



ムナツァカニャン代表によるスピーチと参加
者の様子